

## 市民会議ワークショップ（2回目）議事録

～森林資源の利活用を考えカーボンニュートラルの実現にむけて～

- ・日時: 令和4年5月8日(日) 13時～15時30分
- ・場所: むらさきかん第4活動室 A
- ・ファシリテータ: AKJ 環境総合研究所副理事長、あいち環境塾プログラム・マネージャー  
名古屋大学大学院工学研究科 化学システム工学専攻 准教授 小林敬幸様
- ・参加者: 15人 (五十音順): 稲垣、加藤、藏藤、小林、近藤、笹原、重徳(途中退席)、鈴木(健)、(敬称略) 鈴木(ま)、鋤柄、富田、野本、日高、水野、渡辺(途中退席)
- ・内容: 1) 新規参加者(7名)を加え2グループに分かれて頂きワークショップを開催した  
(新規参加者のグループ分けは事務局にて振り分けを行った)  
☆グループ A: 藏藤寛、近藤義人、鋤柄雄司、富田宣弘、野本篤  
☆グループ B: 笹原圭一、鈴木健一、鈴木まさと、日高敏明、水野和康、渡辺正司  
2) 新規参加者の自己紹介と参加動機など発表  
3) 1/9(1回目)のワークショップ(現状把握)のまとめを参考に各グループで意見交換し  
2回目の議題である①チーム名の決定②行動の方向を決める(手段・方法も考えながら)  
についてのワークショップを行った  
スケジュール  
13:40～14:40 現状把握から行動の方向決め意見交換  
14:40～14:50 休憩(コーヒータイム)  
14:50～15:30 方法決め議論とチーム名の検討  
15:45～15:50 まとめ発表(チーム名と方法決め)  
15:50 閉会

### ・結果

- グループ A: 鋤柄雄司さん
  - ①チーム名: 山政場連携チーム
  - ②「行動の方向について」概要
    - ・山(バイオマスなど木がある場)があつてこそ森林経営やCNなどの話ができる。
    - ・山を持っている人や関わっている人達の山の存在の理解が重要であるが、この理解の内容でも川上の人や川下の人とでも理解に差がある。これらの差や色々な疑問をこの場で話し合いを行う事で理解を深めることができる
    - ・こういった内容を政治の中でも議論して頂き、その結果を再び場で話し合い実現に結び付けてゆく。
    - ・今後、こういった場を提供し、こういった連携をしていけば良いかを考えてゆきたい。
- グループ B: 鈴木健一さん
  - ①チーム名: 森を活かし生かされきるチーム
  - ②「行動の方向について」概要
    - ・昔は山で伐った木は生活の中で使いきっていた。薪にしたり漁場でも燃料とするなど暮らしの中で成り立っていたし産業としても成り立っていた。今は丸太

